




月

日

【1】 次の文の主語に——線、述語に——線を引きなさい。

(1) そよ風が そっと ほおを なでる。

(2) これは 兄さんの パソコンです。

(3) さわやかな 朝の 空気を ぼくは むね いっぱい すいこんだ。

(4) 父と母は、いそいそと ショッピングに 出かけた。

述語はふつう文の最後にあります。主語は初めにあるとはかぎりません。

【2】 次の——線の言葉を修飾して（くわしくして）いる言葉に——線を引きなさい。

(1) 京都は 静かな町です。

(2) 大きな 白い犬が 走ってきた。

(3) ぼくたちの先生は、とても ほがら かな人です。

【3】 次の文を適当なつなぎ言葉を使って、二つの文に書きかえなさい。

☆ 久しぶりに雲一つない夜空だったので、  
天の川がきれいに見えた。

久しぶりに雲一つない夜空だった。  
だから、天の川がきれいに見えた。  
(それで)

「すると」も、「だから」「それで」と同じ種類のつなぎ言葉ですが、ここではふさわしくありませんね。

【4】 例にならって、正しい送りかたを（ ）に書きなさい。

【例】 くわえる 加（える）

(1) こころみる 試（みる）

(2) みずから 自（ら）

(3) たえる 絶（える）

(4) こころよい 快（い）

(5) あらわす 現（す）

「表」も同じように「す」を送りがなにつけて、「表す（あらわす）」と書きますね。



【5】 次の（ ）の言葉を適当な形にかえて、（ ）に書き入れなさい。

(1) あと十分だけ 待と う。  
（待つ）

(2) ふといい考えが うかん だ。  
（うかぶ）

(3) つらく ても、泣かないぞ。  
（つらい）

(4) 新せん な だ。  
（新せん）  
野菜を食べましょう。

動きを表す言葉や様子を表す言葉は、あとにくる言葉によって形が変化します。

※こちらはサンプルです。実際は、B4サイズになります。